

## 第 2 回 第 2 次愛西市環境基本計画策定委員会会議録（概要）

|           |   |
|-----------|---|
| 会 議 名     | 第 2 回 第 2 次愛西市環境基本計画策定委員会   |
| 開 催 日 時   | 令和 4 年 1 0 月 4 日（火） 午前 9 時 3 0 分から午前 1 1 時 4 5 分まで  |
| 開 催 場 所   | 愛西市役所 北館会議室 2-1・2-2   |
| 出 席 者     | 別紙のとおり  |
| 欠 席 者     | なし  |
| 協 議 事 項 等 | <p>●協議事項</p> <p>（1）意識調査（市民・事業所・中学生）の報告書について</p> <p>（2）第 2 次愛西市環境基本計画（案）について</p> <p>（3）その他</p> |
| 公開／非公開の別  | 公開  |
| 非公開の理由    | —   |
| 傍 聴 人 の 数 | 0 人   |
| 会 議 資 料   | <p>次 第</p> <p>資料番号① 意識調査報告書</p> <p>資料番号② 第 2 次愛西市環境基本計画（案）</p>                                |
| 審 議 経 過   | 別紙のとおり  |

第2回 第2次愛西市環境基本計画策定委員会委員

| 役 職   | 氏 名   | 備 考 |
|-------|-------|-----|
| 委 員 長 | 千頭 聡  |     |
| 職務代理  | 水野 博  |     |
| 委 員   | 小野 陽子 |     |
| 〃     | 奥田 哲弘 |     |
| 〃     | 堀田 克芳 |     |
| 〃     | 衛藤 義隆 |     |
| 〃     | 石原 一孝 |     |
| 〃     | 安藤 諭  |     |
| 〃     | 中村 文子 |     |
| 以下余白  |       |     |
|       |       |     |
|       |       |     |
|       |       |     |
|       |       |     |
|       |       |     |
|       |       |     |
|       |       |     |
|       |       |     |
|       |       |     |
|       |       |     |
|       |       |     |

職務のために出席した職員

| 役 職 | 氏 名 | 備 考 |
|-----|-----|-----|
| なし  |     |     |
|     |     |     |
|     |     |     |
|     |     |     |
|     |     |     |
|     |     |     |
|     |     |     |

事務局

| 氏 名   | 氏 名   | 氏 名  |
|-------|-------|------|
| 人見 英樹 | 山岸 忠則 | 小倉 亨 |
| 渡邊 勝宏 | 浮貝 将成 |      |
|       |       |      |
|       |       |      |

## 審議経過

| 発言者       | 内容（概要）  |
|-----------|---|
| 事務局       | <p>1. あいさつ<br/>市民協働部長あいさつ</p>   |
| 事務局       | <p>2. 協議事項<br/>(1) 意識調査（市民・事業所・中学生）の報告書について（資料①）</p>  |
| 事務局<br>委員 | <p>訂正事項について説明する。<br/>書き方の問題であるが、P.7 他もそうであるが、凡例から引出線が出ているのはおかしいのではないか。</p>  |
| 委員長       | <p>どれがどれに当たるか、わかるようにしたものと思われる。</p>  |
| 委員        | <p>P.19 の設備について、木質バイオマスがあるが、推奨しているのか。</p>   |
| 事務局       | <p>化石燃料を使わないため。</p>   |
| 委員長       | <p>石油、灯油を使うよりは、薪ストーブの方がCO<sub>2</sub>を出さない、ということ。</p>   |
| 委員        | <p>私の考えでは、住宅地で薪ストーブの使用は煙がひどい。日中では洗濯物が干せないということで、近所で問題になったことがある。</p>   |
| 委員長       | <p>CO<sub>2</sub>という観点では勧めているということ。今後 PR する際は、今の点は気をつけること。</p>  |
| 委員        | <p>P.11 で「以前」というのは、以前が良かったということか、以前が悪かったのか、どういう想定か。想定によって解釈が変わると思う。</p>   |
| 事務局       | <p>そこまで想定していないが、記述を見ると、良くなったという意見と、以前から悪いという意見もあり、そういった意見を見ながら評価する。</p>   |
| 委員長       | <p>記述でなくても、問3と問2の回答をクロス集計すると、その分析ができると思う。今のところは、この分析になるとのことなので、元データをいただけたら私の方で分析する。例えば、P.8 で総合的に市の評価は低い、何を理由にその評価をしているかはわからない。P.7 で回答の内訳を見ると、それほど低くはないように見える。また P.7 で、生活環境としての水辺は評価が低い、水辺の豊かさ、自然の豊かさという視点では評価が高い。「水や緑の豊かさ」と聞かれたときに愛西市民が何をイメージするか、足元の水は汚いが、自然が豊かだと思っているのはなぜか。農地がプラスになっているかもしれない。</p> |
| 委員        | <p>木曽川を思い浮かべるときれいだが、目の前の水路、川を思い浮かべると汚い、ということではないか。</p>  |
| 委員長       | <p>所用で木曽川はよく通過するがきれいだと思う。このことは重要だと思う。中学生も似たような回答になっている。P.35 事業者の問9全体を見ると制度の充実が必要と見えるが、少ないながらも6社程度が市民や団体と意見交換したいと考えているので、その場をつくると、良いきっかけができそうだ。</p>  |
| 委員        | <p>中学生は普段歩いたり、自転車で移動するので、自動車で移動する大人より、ポイ捨てが気になると思う。マクロ的に見ると、木曽川があり、田園風景があり、水郷なのだが、細かいところも気になる、と思われる。</p>  |
| 委員        | <p>私が「良くなった」、大きく変わったと思うのは、スーパーのレジ袋がなくな</p>  |

|                    |  |
|--------------------|--|
| <p>委員長</p>         | <p>ったこと。レジ袋にコンビニなどのごみをまとめて捨てて、家の前に捨てられたこともある。レジ袋がなくなって、ごみのポイ捨てがなくなったと思う。P. 46 で遊具のある公園や芝生のある緑地が足りないという意見が多く、子供達は遊具で遊びたいのだと思う。遊具のある場所の隣にビオトープのようなものを設置し、トンボやカエル取りのできる場を考えているのではないか。ショッピングセンターの希望もあるので、都市計画の中で工業地域、緑を残す地域等ゾーニングをすると両立できるのではないか。</p> <p>このご指摘、子ども達の視線が足元にある点は本編に入れたい。</p> <p>小学生にワークショップで、ポイ捨てはいけないというと、自分達ではなく、大人がしている、と反論される。子ども達はよく見ている。</p> |
| <p>委員<br/>委員</p>   | <p>環境教育が徹底されているからだと思う。</p> <p>この3年でコロナのお陰で生活環境、リズムが変わって、外出しない、人と接しない、マスクをしている、そういう環境では余計に周りが見えているのではないか。ごみの問題では、落ちているものも、ペットボトルからマスクになった。</p>  |
| <p>委員長</p>         | <p>世界中から驚くほどの量のマスクが海に入っているということについての研究がなされている。</p>   |
| <p>委員</p>          | <p>自由記述で野焼きの意見が多い。以前の策定委員会で説明があったが、条例で認められている野焼きとそうでない野焼きがあることの理解が進んでいない。そういった野焼きの説明を示す方が良いのではないか。</p> <p>また、中学生の意見では、ボールで遊べるところが欲しいというものが多い。かつては学校が終わってから学校で遊んだ。ケガなどのリスクもあるが、学校を開放する、とかで外で遊ぶ環境を作れないか。子ども達の需要がある。</p>  |
| <p>委員長<br/>事務局</p> | <p>都市計画公園は球技ができないところが多いのか。</p> <p>野焼きの件は深い話になるので割愛するが、広報では年2回掲載していて、原則禁止としている。この時期は、夏草の焼却が多く、頻繁に苦情が寄せられる。農作業での焼却は例外とされているが、苦情が出る場合には控えてもらうように説明している。環境基本計画の案でも野焼きについて記述もあるので参考にしてもらいたい。また、都市公園については、球技が禁止の所もある。</p>  |
| <p>委員</p>          | <p>(2) 第2次愛西市環境基本計画(案)について(資料②)</p> <p>目標等の説明が唐突である。アンケート等の調査をしたなら、その結果を踏まえ、課題、施策があるという説明が必要なのではないか。その説明があると、愛西市独自の計画であることがわかる。</p>  |
| <p>委員長</p>         | <p>P. 47 の前、P. 41 の段階で、愛西市の現況から、良いところや問題になっていることを整理し、課題と必要な対策を見やすくまとめたページがあると良い。それがあれば概要版にも使えるし、住民への説明にも使える。次回までにまとめておくこと。環境目標は、どの自治体でも、結果的には似た構成になるが、愛西市ではどうしてこうなったのか説明が必要である。</p> <p>5つの柱があるが、今回の計画ではどこに力を入れるのか、現段階の考えを</p>  |

|     |  |
|-----|--|
| 事務局 | お聞きしたい。<br>現在調整中であるが、概略はP. 43～45 にまとめている。愛西市の現状は、全く変わるものではないので現行の計画を引き継いでいるが、社会情勢の変化に対応して構成を組み直している。   |
| 委員長 | 次回にでも、A3 ぐらいで、現況、課題、必要な対策をまとめたフローチャートのようなもの、全体の流れをまとめたものが欲しい。それがあると理解しやすい。   |
| 事務局 | P. 51 で指標の修正があり、巡回バスの利用者数の目標値は 12,500 人ではなく 125,000 人である。  |
| 委員長 | 第 1 次計画の数値目標の達成状況はどうなっているか。P. 40 に一覧があるが、指標は変わったのか、新たな目標値はそのまま直線的に延長したのか等の説明をお願いしたい。   |
| 事務局 | 各課と調整して、削除、変更したものがいくつかある。指標・目標値は今後も各課と検討するので、変更する可能性がある。<br>指標は、策定委員会の前に庁内の策定部会で照会したものであり、基本的には引き継いでいるものが多いが、制度が変わった等により変更したものもある。目標値は各課から出されたものである。   |
| 委員  | P. 58 目標値が書いてある。これをそのまま使うかどうかは、今後事務局で検討するということか。   |
| 事務局 | 指標は中位目標ごとに設定している。  |
| 委員長 | これらの指標・目標について、計画書に載せる・載せないも含めて今後検討するということになる。  |
| 事務局 | P. 76 の進行管理について、新しく付け加えたことはあるか。<br>環境基本計画推進部会とあるが、新たに組織せず、環境基本計画策定専門部会を活用する方向で考えている。この部会は計画に関係する部局から構成されているので、施策の検証等にも対応できると考えている。   |
| 委員長 | 現行計画を踏襲しつつ、ゼロカーボン等の話を補強して現況を踏まえた計画にする、という構成である。  |
| 委員  | 法律に基づく計画とする場合、地球温暖化その他、総論があるが具体的な対策がない。これから盛り込んでいくとの話であるが、検討にあたっては、国からの再生可能エネルギーの交付金があるので、それを使って自治体、民間の施設整備を進めることができる。また国の支援サイトで最新事例や補助制度等を活用すると良い。<br>また、事務事業編は今回関係しないとの説明であったが、P. 49 で指標・目標値が示されている。目標値は令和 2 年度比であるかもしれないが、2013 年度比でも示すべき。削減率としても低いので市として事務事業をどう進めるのか検討する必要がある。<br>生物多様性では、現況を示して将来の姿とのギャップから課題を整理し、解決するためのプロジェクト、目標をしっかりと議論すべきである。緑の基本計画のエリアごとの分析や、木曾川ケレップの自然再生とか、素晴らしい事業があるのに、具体性のある記述がない。地域戦略とするならば、生物多様性 |

|     |  |
|-----|--|
|     | <p>の計画に求められる第2項の項目が明確にされていない。農用地の重要性の記述もない。対象地域、目標等、外来生物の調査等、具体的な記述に欠ける。守りたいと言いながら、市としての具体的な対策、活動がない。</p>  |
| 委員長 | <p>生物多様性地域戦略は、県は環境基本計画の生物の部分に置き換えても良いという認識で、国で言う計画を義務付けているのではない、ということではないか。</p>  |
| 委員  | <p>努めなければならない、ということであるが、項目としてはおさえておいてもらいたい。少なくとも対象区域は入れること。</p>  |
| 委員  | <p>過去5年間で愛西市に環境教育を提言してきたが、実現したのは2回だけで、学校関係を通じて環境課と見学したことがあるが、学校独自のものではない。地球温暖化についての学習は各小学校でやっているが、授業の中で講座ができるとうい。学校で何回実施した、が目標になるとか。</p>   |
| 委員長 | <p>学校での環境教育を取り組むべきだというご意見であるが、例えば P.65 の「環境教育の充実」で小中学校の環境教育としているが、実態を伴っていないという印象か。</p>   |
| 委員  | <p>学校によって方針が異なり、内容は同じと思われるが、校外に依頼する場合とそうでない場合がある。</p>  |
| 委員  | <p>事業所で環境問題に取り組んでいる事業所としては、近所で月1回社員が周辺のごみ拾いをしている事業所がある。そういう、簡単なことであっても、取り組んでいる事業所はあるが、全体ではどのくらいになるのか。パートナーシップとして、登下校の見守りをしている事業所もある。</p>   |
| 委員長 | <p>そういう活動を、市で表彰するという事も考えられる</p>  |
| 委員  | <p>P.48 カーボンニュートラル、市はどうやって取り組むのか。本当にできるのか。</p>   |
| 事務局 | <p>国の方針に合わせると2050年にゼロを目指すということで、愛西市の目標としても半減しないといけない。ゼロカーボンの宣言をするかということも、策定委員会で議論していただきたいと考えている。市としては、市民・事業者で取り組みを進めていかなければならないが、そのためには、ゼロカーボン宣言が本当に必要かどうか、議論していただくことを考えている。市としては半減を目指しているが、最終的にどうやって減らすかについては議論が必要である。カーボンニュートラルを目指す場合、ガソリン車から電気自動車に交換するような取り組みが求められるが、費用の問題もあるので、宣言が必要かという議論になる。</p> |
| 委員  | <p>アンケートから市民目線で考えると、環境が良くなるというのは、川、水がきれいになること、ペットのフンや、ごみのポイ捨てがないこと、一方で自然に対する安全性など、これらを加味した環境整備を進めていただきたい、ということがわかる。</p> <p>ゼロエネルギーでは、公共交通を充実する、こういう方向性が見える。子ども達に関しても同様の意見である。そういう点を中心に整備するというのが、愛西市でやることではないか。</p> <p>川、池のきれいさでいうと、護岸工事で生物多様性を失い、ヘドロがたまる。</p>  |

|     |   |
|-----|---|
| 委員長 | <p>今までのような岸があればバクテリアとか色々な生き物がいて、自然に水が浄化されていた。そういう環境をつくりっておきながら、水をきれいに、というのは不自然に思う。用水で、そういうゾーンがあるのも聞いたことがないので、自然の浄化を活かしたまちづくりという方針はどうか。</p> <p>不法投棄、ごみのポイ捨ての対策なら、あぜ道の草刈りとか、捨てられない環境をつくるとか、市民目線ではこういう事が考えられる。</p> <p>ご指摘のような視点も重要で、ゼロカーボンと両面から攻めていく必要がある。</p>   |
| 委員  | <p>現行計画の到達度を踏まえて、今回は、こういうところに力を入れていく、市民の評価が低い川の水質改善を図るということにつながると良い。そういう流れが見えてこない。メリハリがない、そういう意見ではないか。</p> <p>P. 42 の望ましい環境像は、言葉が硬い。キャッチフレーズを柔らかい言葉で入れてはどうか。水と緑を未来につなげるまち愛西、豊かな自然を守り未来につなげるまち愛西、人と自然にやさしいまち、とかキャッチフレーズをつくり、ことあるごとに広報に載せて、市民の意識に浸透させて、意識を変えるとよい。</p>   |
| 事務局 | <p>望ましい環境像は、上位計画である総合計画から引用している。キャッチフレーズを使うというご意見であれば検討する。</p>  |
| 委員  | <p>P. 42 に5つの項目があるが、現状について追加したいことがある。農業用のパイプラインは木曾川の水を引いている。用水路は、排水を利用しているが、下水道工事によって、用水路に入る水がきれいになっている。以前は、下水のいった用水路の水を田圃に使っていた。田圃の少ない地域ではパイプラインはないが、いずれは引きたい。そういうことで、野菜、コメもきれいな水で作っていることも入れたらどうか。用水路で護岸工事をするのでドロがたまるので、用水路をきれいにするために木曾川の水を入れたいが、高額になる。そういう話があることも認識していただきたい。</p>  |
| 委員長 | <p>市の独自の水質調査データは掲載すべきではないか。環境基準が設定されていないとは言え、市の環境基本計画なので、市が独自に調査したものは入れるべき。身近な川の汚れが皆、気になっている。</p> <p>あと、第2回の策定委員会で全体の案が出てくることはまずないが、それには大事な議論が抜けている。骨組みの議論をせずに、いきなり各論になっている。総合計画の目標と、環境基本計画としての目標の議論があつての素案になる。その点は丁寧な議論が必要になる。</p> <p>全体のスケジュールは、策定委員会は全4回、あと2回あるので、次回は案が出てくることになる。皆さんまだ意見があると思うので、どんな形で意見を事務局に寄せて、どのように反映させるのか。</p> |
| 事務局 | <p>みなさんからお寄せいただいた意見を踏まえて、次回12月までに案を詰めて、事前にお渡しする。</p>  |
| 委員長 | <p>今回の資料に対する皆さんの意見を、あとから集約して、反映させることも必要ではないか。</p>   |
| 事務局 | <p>今回話せなかったこともあると思うので、1週間程度後までに事務局にご連</p>   |

|            |  |
|------------|--|
| 委員         | <p>絡いただければ、整理して対応する。次回は12月を予定しているので、日程調整等ご協力をお願いします。</p>   |
| 委員長        | <p>次回の資料では、今回の意見がどのように反映されたか、反映されなかったも知りたい。後日寄せられた意見に対しても同様の対応をお願いしたい。</p>   |
| 委員         | <p>C委員の第2章に対する指摘は、地球温暖化に対しても同様なので、計画の観点は補足すること。</p>  |
| 委員長        | <p>施策も具体的にしたい。</p>   |
| 事務局        | <p>最近の環境基本計画では、環境部局で中心に取組める内容に限定する方向になる流れがある。案の3つ目の柱の内容になる、公園や景観などは都市計画部門に任せる方向になっている。自治体の方針によるが、計画書に多くの施策が書いてあるが、すべてやれるのかということである。計画書に書くからには、進捗管理しなければならない。本来は幅の広いものを扱うので、書き方は工夫すること。</p> |
| 委員         | <p>第1次計画から、農地転用や大気汚染等、市では啓発はできるが管理はできない問題を外した。</p>   |
| 委員長        | <p>愛西市総合計画は、後期計画では全く新しくした。環境基本計画は、第1次計画を踏襲しているが、載せたからにはやらないといけませんが、予算的にどうかという問題がある。総合計画は夢の部分も必要であるが、個別計画には、その点はどうなのか。</p>  |
| 委員         | <p>細かく見て、実行できないことは抜けば良い。農地の持つ機能は詳しく書く必要はあるが、農用地面積を環境基本計画の中で目標にすることは、環境課としてどうなのか、という点が問題である。</p>  |
| 委員長        | <p>重点施策も案にはない。現行計画の評価に基づき次回をどうするか、今回はそういった議論をするべきであった。</p>   |
| 委員         | <p>ハザードマップのように、自然のマップを作るとか、調査した結果を市民に知らせる努力が必要ではないか。</p>   |
| 委員長        | <p>だからこそ、市が測定した水質の結果を掲載することが重要である。</p>   |
| 委員長<br>事務局 | <p>(3) その他<br/>今後の日程調整について<br/>次回開催日は、この場で決めるのか。<br/>12月の都合の悪い日を連絡いただいて集約し、決定する。</p>   |